

西海パールシーセンターが変わります

西海パールシーセンターは、西海パールリゾートの中心施設として平成6年7月にオープンし、多くの市民や観光客が訪れています。今後さらに、九十九島の「知名度向上」「来訪客増加」などを図るため、水族館を拡充する計画を進めています。

ここでは、基本的な計画の内容をお知らせします。今後、市民の皆さんのご意見を参考にしながら、具体的な設計などを進めていく予定です。

水族館拡充の主な方針

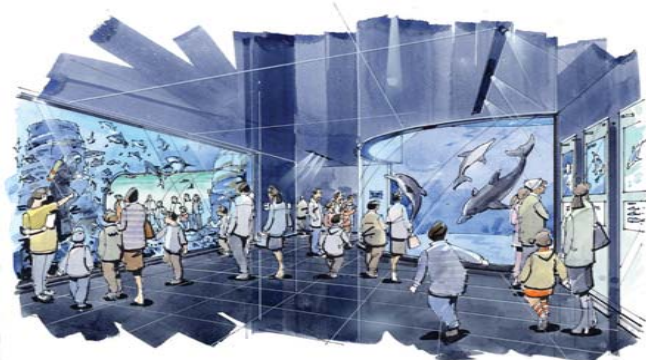
- ◆ 九十九島周辺の自然環境紹介機能を強化する
- ◆ 博物館法に基づく「水族館」へ格上げする
- ◆ 体感して学習できる施設へ整備する
- ◆ 子どもから大人まで楽しめる施設へ整備する

施設の主な内容（基本計画）

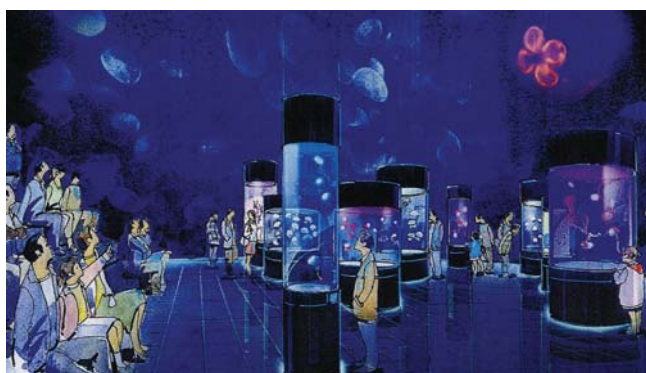
生まれ変わる水族館は、「九十九島大水槽」「イルカ水槽」「クラゲドーム」を設けることが主な特徴になります。



九十九島大水槽（イメージ図） 九十九島の海中世界を再現する屋外型のパノラマ水槽です。水槽は、上部をオープンにすることで、自然光が差し込み周囲の自然景観と一体化します。来館者は、水中（ガラス越し）と水上の様子を見学できるようになります。



イルカ水槽（イメージ図） 各地の水族館で人気が高いイルカの水槽を新設します。イルカの高い能力を紹介し、観客とできるだけ多くの触れ合いの機会をつくることを計画しています。



クラゲドーム（イメージ図） 現在のドームシアターが、クラゲをテーマにしたユニークな展示空間に変わります。

西海パールシーセンター水族館の拡充についてご意見募集

西海パールシーセンター水族館の拡充について、今後の本格的な設計の前にご意見を募集します。ご意見は、設計に際し参考とさせていただきます。

【募集期間】 6月1日（木）～30日（金）必着

【募集内容】 基本計画についてのご意見や新しい水族館に対する要望など

【対象】 佐世保市民

【応募方法】 お住まいの町名、年齢、性別を書き、郵送、ファクス、Eメールで

【あて先】 市役所観光課九十九島係

郵送 〒857-8585（住所不要）

ファクス 0956-25-9680

Eメール kankou@city.sasebo.lg.jp

「西海パールシーセンター水族館拡充基本計画」は、市役所観光課、市ホームページで閲覧できます。

【お尋ね】 市役所観光課（☎0956-24-1111）

九十九島でのシーカヤックや無人島上陸体験は、自然に触れることで、

佐世保型のエコツーリズム

自然・歴史・文化・産業などあらゆる環境を対象として、それらを体験し学ぶとともに、その保全について責任を持つ観光のあり方です。「環境保全」「観光振興」「地域振興」などの効果が期待されています。

エコツーリズムとは



九十九島のシーカヤックエコツアー

エコツーリズム推進の取り組み

佐世保は、平成16年に環境省からエコツーリズムのモデル地区に選定されました。市では、九十九島の豊かな生態系やハウステンボスの環境保全の取り組みなど地域の魅力ある資源を生かして、エコツーリズムの推進に取り組んでいます。

環境保全の意識を持ってもらうことが狙いです。現在行われている無人島上陸体験では、ごみ拾いがメニューに加えられています。このほか、ハウステンボスの環境学習、三川内焼の絵付け、石橋めぐり、カキ殻漁礁づくり、茶摘みなど「佐世保ならではの」体験型観光を推進しています。

これからの課題

観光客に楽しく体験してもらい、学んでもらうためのガイドや指導者を養成していくこと、観光客とエコツアーへの参加を仲介する組織づくりなどが課題です。

そして何よりも、観光に携わる人だけでなく市民の皆さんが、豊かな観光資源を保全していこうという意識を持つことが大切です。

【お尋ね】

市役所エコツーリズム推進室

（☎0956・24・1111）

多面性あふれる 明るいまち

（財）佐世保観光コンベンション協会の口木史香さんに、佐世保の魅力などについてお話を聞きました。



口木史香さん

何でも受け入れてくれるまち

平成15年に佐世保観光コンベンション協会の発足と同時に採用されました。主に雑誌やテレビの取材対応、ガイドブックの作成、イベントなどのピーアールを担当しています。この仕事を始めて、「人に紹介し

たい佐世保」という視点で佐世保を見るようになり、豊かな自然や歴史、食べ物、国際性などの多面的な魅力があることを知りました。何より、元気な人が多くて、何でも受け入れる明るい街の雰囲気を感じています。

体験して初めて分かる魅力

初めて佐世保を訪れる多くの人たちは、九十九島やハウステンボスなどの素晴らしさに魅了されます。それまで佐世保に抱いていたイメージが、実際に体験することで変わるそうです。また、取材で訪れた人たちから「佐世保は温かい人が多いですね」と言われることがあります。このようなことが、この仕事を上での誇りになっています。

佐世保には、訪れた人たちが楽しめるものがそろっていると思います。

まずはわたし自身が「佐世保」を勉強し、いろいろな体験をして、それらの体験を生かしながら佐世保の魅力をもっと多くの人に知ってもらえるよう、頑張りたいと思います。